

公民館だより

61.12
由良地区
公民館

青少年の健全育成について

館長 小松 忠 衛

最近の子供達は性格も明るく、知識も豊富で、良い面が沢山あるが、一方で社会の一員としての意識や責任感が希薄で、地域社会の様々な活動に参加しようという意欲や行動が乏しいなど、社会性に欠ける子供も増えていると言われています。

十一月は、青少年健全育成月間で、各地域で取り組みがなされていますが、宇津・宇謝地方においても、青少年健全育成懇談会が開催されました。その中から主な取り組みなり意見を挙げてみます。

一、育成団体、組織としては、各地域あまり違いはありませんが、青年会が中心となりジュニアリーダー研修会がもたれ、子供会の指導がされている地域がある。特に、青年会の結成が必要とされる現在貴重な例である。

二、子供とのふれあいの機会が少ない現状で、老人会が、子供達にチューリップをほじめ季節の花の植之付け、手入れなどの指導の

一、青少年を取り巻く有害環境の浄化活動に地域ぐるみで取り組もう。

子供達は大人の姿を見て真似る。京都国体も近付きました。全国各地から宇津を訪れる大会関係者は、気持ちよく活躍していただくためにも、まず大人が積極的に社会参加をするよう心掛けて下さい。



報 告

主事 平 間 克 巳

一、自治学級

日時 七月十三日 午後七時三十分

会場 由良の里センター

由良の活性化を計るため、先づ生活環境を整備する。

1 由良観光祭について

観光祭の組織についての質問に、委員長外二、三名の委員で当日の世話をしているが、組織全体として動くようにし、皆の祭りにすることが大切である。今後は遠泳大会等、海水浴に関係あるものを考えたい。
2 ゴミ・空ビン・空き缶対策
由良川上流より流れ来るゴミについては、

中で、ふれあいを大切に育てている地域がある。

一、少年スポーツ教室の指導中は、礼儀作法は立派にできるが、一歩外へ出ると乱れがちであるが、そこまで含んだ取り組みがなされている。

一、高校生以上の年代の青少年層に対する育成団体が殆んどない。子供達のリーダー格として社会参加すべき年代である。高年生の登下校態度は、目にあまるものがある。一、家庭教育の不十分さ

一、高年生のバイフは、学校で禁止されているにもかかわらず、友達も免許をとったので、自分もとりたいたいと言う。我が家の家憲は、ルールを守ることであり、家族は全員これを守る義務ありと許可しない。

一、育成団体の縦横の連携は勿論だが、何より子供とのふれあいが大切である。

一、子供会等の活動に対し、指導者は指導すべきであって、お膳立てすべきでない。尚、青少年の健全育成をめざす京都府の運動目標は、次の通りである。

一、家における親と子、地域における大人と子供とのふれあいの機会を大切にしよう。

一、家族ぐるみで家事の役割りを分担したり、地域活動などに参加しよう。

一、青少年は、次代を担う誇りと責任を自覚し、積極的に社会参加を進めよう。

A 由良川を守る会が処理する。汚水は地方建設局が、生ゴミは地元各戸が処理する。

B 浜ゴミ、空ビン・空き缶は浜茶屋で仕末する。又、一般家庭では、生ゴミは分別集収して、ゴミ量を半減する。効果はある。浴客は美化に対する感覚がない。

C 「ゴミ持ち帰り」の立看板を立てる。高浜では効果を挙げている。

3 芥大掃除

薬剤散布(乳剤)をしたかどうか確認の必要。最近蚊が多い、散布していないのではないかと。新築家屋が多くなった事と、掃除機の使用により、衛生方面も良くなった。煙霧消毒も、薬剤の毒性に注意し、中止した。一斉掃除については、日を指定してやらえ、近所に遠慮せずに掃除が出来る。

4 横断歩道の信号と照明

A 必ず横断歩道を通る事が大切である。又横断歩道に照明が必要である。
B 夏期だけでもスピード制限は出来ないか。(京都府公安委員会の関係があり、必ずかしい。)

● 鉄橋下の交又点の照明が点灯していない。

● 駅前から由良の里センター、国道の道路が暗すぎる。非行対策としても必要

● 横断歩道の黄色の旗はどうなっているのか。(申請すればくれるが、これを入れる缶の管理が出来ない。缶の中に空ビン

をいれたりして使えない。)

5 挨拶運動
小西由良小学校校長より
小学校でも、PTAも挨拶運動に取り組み努力している。地域の人からも声をかけたい。

大森寅一氏
野球練習日には、挨拶がよく出来る。特に石浦の子は良く挨拶をする。

中西婦人会長
家庭のしつけが大切。子・親・祖父・祖母
6 冠婚葬祭(香典返し・見舞返し)、選挙投票の問題は、時間の関係で討議出来なかった。

反省点

今後はテーマを絞り、二時間でまとめる。

二 夏季四部対抗球技大会

日時 八月十四日

会場 由良小学校グラウンド

成績 一般男子ソフトボール

優勝 第三部

準優勝 第四部

青年男子軟式野球

優勝 第一部

準優勝 第三部

三 盆踊り

予ての念願であった由良の里センター前広場の盆踊りが、今年実現した。

自治会、分館長に声援して戴き、老友会婦人会の皆様には、出演をお頼みいたしました。特に婦人会では、仮装し踊って盛り上げて戴き、照明、音質も完全で、その上手評の豆絞りの手拭いも席に殖し、万葉OKであった。今年も盛会を期待していましたが、踊り始めてから約三十分、折り悪しく雨降りとなり、残念ながら一時間で中止せざるを得なくなりました。

皆様の御協力に感謝しつつ、来年に期待をかける事になった。

四 文化祭

日時 十一月十六日 午前九時〜午後四時

会場 由良の里センター

文化祭会場として二回目である。設営に当たり、先日個展を開かれた四方先生より、自パネル並びに榨台を多数御寄附を戴き、設営に助りました。

今年の文化祭も、例年通り婦人会と共催で開きました。

安価で新鮮な野菜、おいしいうどん、ゼンマイが好評で、家族連れのレクリエーション的な趣で、楽しい文化祭と定着した。展示場は、三十点の生花が明るく、和やかな雰囲気を出し、写真展では、宇津線建設当時の「由良川鉄橋の架橋作業」、

め、山莖さんの等身大の人形に驚かされ、九十歳の羽佐田はるさんの作品「女の一生」に目を見張り、服飾デザイン、手芸、油絵に感心しながら、毎年の茶の湯の接待は、由良文化祭を格調高きものとし、老いも若きも、味わい深きお手前を戴いた事と思えます。

生花三十点、写真八十一点の外、婦人会七十一点(フェスティバル)、服飾デザイン四十点、油絵九点、手芸家紋外四点、羽佐田はるさん(女の一生)二十点、
入場人員 五百四十七人(最多数)

報 告 (二) 主 手 平 間 克 巳
寄 附 租立式白パネル(ベニヤ板版)三十組

「私の由良百景その他」

十一月二日、三日の連休に、由良の里センターにおいて個展が開かれました。

四方先生の由良在任三十年近い間の力作ばかりの中には、航空写真あり、又、午前二時過

ぎからライトを持って、夜露にぬれながら、由良ヶ岳山頂に登り、夜明けを待っての素晴らしい貴重なもの、日本各地の芸術写真、或いは、地元の皆さんの気が集めた思い出しのスナップ等々、多数の入場者の称賛の声ひびき、先生が写真に精根を打ち込まれた、息の長い立派なご研鑽に敬意を表すると共に、今後益々のご精進をお祈りします。

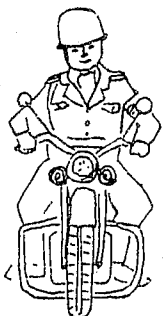
おめでとうございました。

安全な歳末のために

由良駐在所 出口 雅 裕

一年末を無事故で乗りきろう

毎年きまつて歳末時期になると、交通事故が増加する傾向にあります。やはり師走ということで、気持ちの気せわしくなるのでしうか。そこで、交通事故に注意して下さい。



飲酒運転は絶対禁止
酒酔い運転はもろろんのこと、酒気帯び運転も道交法で禁じられていることは、ド

ライバーなら百も承知のはずです。それでも車を運転してしまおう人たちの言い訳は、「あまり酔ってはいないと思っただから」「少ししか飲んでないから」「自分は酒に強いから」などです。しかし、いくらお酒に自信がある人でも、アルコールは体の機能に間違いなく悪影響をおよぼし、

- ① 上手に運転していても錯覚する
- ② 居眠り運転しやすくなる
- ③ 注意力が散漫になる
- ④ 反応が鈍くなる
- ⑤ 運転動作がぎこちなくなる

など、アルコールにより大脳が、かなりマヒすることは事実です。可飲んだら乗るな乗るなら飲むなを地域や職場・家族ぐるみで実践しましょう。

⑥ シートベルトで安全と安心
 高速道路で走行中、フロントガラスに風で舞い上がった紙がはりつき、車が中央分離帯に激突、大破。しかし運転手は、シートベルトをしていたため、かすり傷ひとつなしという例もありますように、いかにシートベルトの効果が高いものかわかります。シートベルトをしていないと

- ① フロントガラスに頭をぶつける
- ② ハンドルなどで胸を打つ
- ③ 車内でふりまわされる

- ④ 車外へ投げ出される

など、死亡事故につながる場合が多いようです。しかし、そのシートベルトも正しいつけ方

- ① 肩ベルトは、よじれないように
- ② バックルは、カチッと音がするまで、確実に差し込む
- ③ シートには、深く腰をかけ、腰ベルトは腹にかからないよう、腰骨の位置に合わせる

等を守りませんと、万一の時その効果がありませんので、気をつけて下さい。

また、十一月一日からすべての道路で着用が義務づけられ、運転者はもちろんのこと、助手席の人がしていても、行政点数一点が付加されますので、運転される場合は必ず着用するようにして下さい。

⑥ ヘルメットを忘れずに
 二輪車の事故は、全交通事故の四十パーセントにもなります。そして二輪車事故では、死亡した人のおよそ七十パーセントが頭を打つたことが致命傷になっています。

- ① ヘルメットをかぶる際は、正しい着法
- ② 頭にピタリあったヘルメットを
- ③ 一度でも衝撃を受けたものは、使用しない

などに注意して下さい。
 なお、このヘルメットについても、着用義務違反の場合には、行政処分点数一点が付加されます。

② みんなで防犯明るく新年
 新年を楽しく迎えるためにも、泥棒などの被害にあわないように注意しましょう。昨年十二月三十一日に、車上ねらいの被害が発生しています。あわただしい年末時期ですが、気をゆるめないようにして下さい。

- ① 二輪車のハンドルロック
- ② 車に貴重品はおかない
- ③ 家の戸締りは確実にする

等を励行して、被害防止に努めましょう。



婦人の健康

フェスティバルに参加して

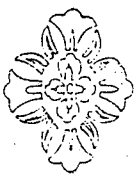
由良婦人会

秋もたけなわの日曜日、丹波自然公園にて婦人スポーツフェスティバルが催され、私達由良地区からも宮津市連合婦人会の一員として、二十名余りが出席させていただきました。大変

立派な美しい会場に圧倒されながら、障害競走、玉入れ、綱引き、京都府のおどり等、頑張って帰って来ました。

また、一週間後の日曜日、宮津市においてもスポーツフェスティバルが真新しい体育館で行われ、二週続けての日曜日の行事でもあり、忙しい主婦にとっては大変にもかかわらず、七十余名の出席で、由良地区の特色である「安寿と厨子王」と言うテーマのプラカードを製作し、全人の行進、又、定接、福笑い、仮装大会等、いろいろと催され、点数においては残念でしたが、楽しい充実した一日でありました。

今後ますます団体に向け、スポーツ大会が盛んにあるでしょうが、皆様の理解と協力において、楽しい行事になることをお願い致します。



宮津市消防団

由良分団より一言

宮津市消防団由良分団長

平素は、消防団に対しまして格別のご協力ご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。今年五月一日付にて、由良分団長の重責を

引き継ぎ、早や半年が経過しましたが、幸いにして当地におきましては、大きな災害もなく過ぎさせていたいております。地民皆様の防火防災に対する知識を十分に心掛けていただいているためと深く感謝致しております。

さて、今年も火災が発生しやすい気候となる時季を迎えて、消防団と致しましては、秋火災予防運動、年末警戒等、いろいろと訓練及び事業が予定されております。

当分団におきましても、皆様の尊い生命、財産を守るためにも、訓練に訓練を重ねまして、当地区がいっまでも無火災でありますよう努力してまいりたいと考えております。しかし、皆様方の協力があつてこそ実現出来るものであります。今後とも皆様方の火災予防に對してのご協力をお願いするものでございます。

昨年度にありますが、宮津市消防団員の勤務先（地域内外）の調査が実施されましたが、当分団においては、現在の総員五十六名中、四十三名四名の団員が地域外勤務で、地域内勤務は十三名と、以前に比べ大きく減少しているのが現状で、特に昼間の火災の場合、消火活動において支障があらうかと思われます。つきましては、初期消火に對し、自衛消防の訓練強化も必要になつてくるのではないかと考へられます。

第三回東京丹後由良会開催の

結果報告

第三回東京丹後由良会は、東京都議選で騒がしい中を、七月六日（土）赤坂TBS前のアマンドで、午後三時より開催された。梅雨のあいだ雨に降られる事もなく、三十名（男二十一名、女九名）が元気な顔でぞかされた。五年振りの再会、懐しい面々や初めへの参加者も多く、会場は終始なごやかに、由良弁や屋号が飛び出し、爆笑や歌声が会場に満ち溢れ、無事午後六時に閉会した。

最後に「由良小学校の校歌」と「由良音頭」を全員で斉唱しめくった。

なお、次の事が決定した。

一 開催日、昭和六十二年七月第一土曜日
 二 開催地、午後三時より午後六時

二代表世話人の選出

- 脇地区 有田 伸太郎（昭和十二年生）
 Ⅲ 〇三〇四九三二五九八四
- 東京都目黒区一〇二一〇一五〇三
- 宮本地区 古川 計介（昭和十一年生）
 Ⅲ 〇四六八四一四一四〇六
- 横須賀市栗田二一五〇一五
- 宮本地区 清水 紀洋（昭和十三年生）
 Ⅲ 〇三〇三二九九一七三三七
- 102 東京都千代田区四一八 四番町住宅四〇四

また、団員の確保につきましても、二年毎に行います幹部改選で古い幹部が退団するたため、各部とも欠員の補充について大変苦労しているように見受けられるのが現在の状態であります。この件につきましても皆様の温かいご理解、ご協力をお願い致します。

後になりましたが、十月三十日に市役所中庭において小型動力ポンプの引渡式が行われ、当分団の第三部に配置されました。これは第三部のポンプの老朽化によるものですが、配置された新型の小型動力ポンプは性能も大変良くなつております。機会がありましたら見てやっていただきたいと思います。

火の用心 “七つのポイント”

- 一 寝たばこや、たばこの投捨てをしない
 - 二 子供には、マッチやライターを遊ばせない
 - 三 風の強いときは、たき火をしない
 - 四 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない
 - 五 家のまわりに燃えやすいものを置かない
 - 六 ふろの空だきをしない
 - 七 ストーブには、燃えやすいものを近づけない
- お出かけ前、おやすみ前に、もう一度火の元の点検をお願い致します。



- 浜野路地区 小室 絵美子（昭和十年生）
 Ⅲ 〇四七三三〇三六〇二四
- 松戸市小金きよしヶ丘二一〇一五
- 巷地区 遠藤 久子（昭和十二年生）
 Ⅲ 〇四四一九三三〇一五九
- 川崎市多摩区宿河原三七 高橋ハイン二〇二号
- 石浦地区 山下 邦雄（昭和八年生）
 Ⅲ 〇四九二一三三〇一〇四〇
- 川崎市多摩区長沢一六六五
- 神崎地区 植田 茂（昭和十一年生）
 Ⅲ 〇四四一九七七七三三四
- 第二松沢マンション二〇一〇号

海と山と
 ロマンの里
 丹後由良



健康シリーズ

やぶにらみの記⑤ 四方寿朗

『心筋梗塞と狭心症』

ご馳走をたくさん食べて、体を動かさなく... 最近日本でも増えたのが心臓病だ。心臓の筋肉に血液を送っている冠動脈がけいれんして、一時的に心筋が酸素不足になるのが狭心症で、冠動脈が詰まって心筋の一部が死んでしまったのが心筋梗塞である。患者数は二十年前の五倍に増えたというが、由良ではそれほど多くない。男は女の五倍で、五六十代に多発する。...

道德教育の

研究を進めるにあたって

宮津市立栗田中学校 校長 宮崎 卓

由良地区の皆様方には日頃より本校教育の推進に格別のご理解を賜っており、誠にありがとうございます。この度、本年より二年次にわたり道德教育について栗田小と共に府教育委員会の委嘱研究実践校に指定され、地域と結びついた小中一貫の道德教育をテーマとして不十分ではあります。由良小は協力校として研究されています。...

追悼

由良公民館

元公民館文化部長杉本舜一氏は、永年病氣加療の処、去る八月三十一日御家族の切なる願ひも空しく、齢五十七才を境とし、卒然永眠されました。此処に謹んで哀悼の意を表します。...



防火の大役

あなたが主役

宮津市消防団由良分団

